

横浜市立岡津中学校マニフェスト(中期学校運営計画)

計画期間

平成18年12月1日～平成23年3月31日

学校教育目標

岡津の「まち」とともに、かけがえのない一人ひとりの生徒が
 礼儀正しく生きる
 自らのよさを表現し、豊かに生きる
 人とのかかわりや環境を大切に生きる
 自ら学び、問題解決できる 力を高めます

学校経営方針

- (1) 個々の教職員が学校経営に積極的に参画し、一致協力して活気あふれる学校にします
- (2) 人権尊重の精神を基盤とし、生徒一人ひとりが心身共に健康で良識ある生徒に育てます
- (3) 「まち」とともに歩む学校づくり、家庭・地域との連携を大切に、地域から信頼される学校をつくります

指導の重点

- (1) 規則正しい生活をし、自らの健康と安全な生活をめざす生徒を育てます
- (2) 自らすすんで学ぼうとし、正しい考えが表現でき行動できる生徒を育てます
- (3) 生徒会活動・部活動を充実させ、地域との交流を進めます
- (4) 人権・福祉活動を通し、将来必要となる素養を身につかせます
- (5) 基礎基本の確実な定着を図るため、学習指導の充実に努めます

改善の視点

取組目標

1 個々の生徒が落ち着いて授業に取り組める環境づくりを進めると共に、豊かな心を育む教育を推進する必要があります	生徒会を中心に「さわやか運動」として誰とでも明るく挨拶し合える環境づくりをします。学校評価の外部アンケートで現状よりも多くの回答者から「礼儀作法が身に付いている」と評価が得られるようにします。
2 学力の低下がさげられる中、生徒の学力向上を図るため、より学習内容が確実に身につけられるよう、教科指導を充実させる必要があります	数学の指導では1年で少人数指導、3年で習熟度別指導を実施します。 平成19年度から教育相談週間に学習相談日も新設します。 英語教育の充実のため、2,3年生の選択の時間に英語授業を多く開設します 情報教育の充実のため、3年生の選択の時間にICT教育を取り入れます 国語教育充実、表現する力を高めるためTT授業を実施します
3 生徒の体力の低下に関しても議論があります。これに対して具体的な教育的配慮が必要と考えます	平成18年度から市の新体力テストを全学年4種目導入します。平成19年度以降は1年で8種目に増やし平成21年度には全学年で全8種目実施します。 学校行事では運動的内容を増やします。体力増進のプログラムを指導し、個人の体力記録カードを作成し、意識させます。
4 生徒の地域での活動に対しいろいろ課題があります。地域の一員としての自覚を持ち、良き横浜市民となる素養を身につけさせる必要があります	生徒会を中心に「地域ボランティア」活動を充実させ、地域清掃など中学生が地域のために活動している場面を多くの方に見てもらおう。学校評価の外部アンケートで現状より多くの回答者から「地域のために活動している」と評価を得るようにします。

<p>5 子どもの安全を脅かす事件が後を絶ちません。それと同時に自転車による事故なども増加しています。安全教育の充実を図る必要があります</p>	<p>平成19年度、警察と連携し外部講師を招聘し、1年生は交通安全教育学習(年6時間程度)を開始します。平成21年度までには、1年生では交通安全と危機回避、2年生では情報社会での危機回避、3年生では地域防災と中学生の役割、社会からの誘惑からの危険回避について、3年間を通して安全教育を学ぶ仕組みを構築します。</p>
--------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>人材育成の考え方</p>	<p>今後増加が見込まれる新採用教員、若手教職員の育成を図るため、教育委員会主催の研修を活用すると共に、校内研修を充実させます。 若手教職員の活力を学校全体の活性化につなげるため、校内に若手を中心とした「岡津中改革推進プロジェクトチーム」を立ち上げ、改革・改善に積極的に取り組みます。 生徒会活動・部活動に適切な指導のできる人材を確保するとともに、校内でも5年先を見通した計画的な指導者育成のための研修に取り組みます。 ベテラン教職員の経験からのノウハウを活かした取り組みを進めると共に、公開授業などを通して若手層の指導者としての自覚を高めます。</p>
<p>平成19年度の重点取組項目</p>	<p>生徒会活動で「さわやか運動」「地域ボランティア」活動を展開します 市の新体力テストを全学年4種目導入します。 安全教育プロジェクト学習実施に向け、外部講師の依頼を行います。 行事における運動的内容についての見直しをします。 個人の体力記録カードの原案を作成し決定します。</p>
<p>これまでの取組結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ボランティア活動では区主催の軽スポーツ大会において福祉委員会生徒が参加し、障害のある方々と交流をした。また有志を募り8 / 26に日本丸にていずこい踊りを披露した。11 / 8区民祭りにも参加する予定。 ・ 体育祭を色対抗からクラス対抗に変更し、よりクラスの団結を図った。結果、昼休みや朝に自主的に競技種目の練習に励み、クラスの団結力につながった。 ・ 新体力テストは全学年とも導入した。個人の体力記録カードは一部実施したが、検討を重ねている。 ・ 2月に警察関係の方を招きサイバー犯罪と交通安全についての安全教育を実施する予定。 <p style="text-align: right;">(平成19年10月1日現在)</p>
<p>学校運営協議会の意見</p>	<p>岡津中学校マニフェストを策定するにあたり、平成18年10月20日に委員の方々にご意見をいただきました。主なご意見は次の通りです。</p> <p>取組目標を数値化する手法は馴染まないのではないだろうか。 ボランティアなどPTAの取組みだけでなく、生徒にもやらせたい。 情報開示は必要であるが、その必要性を考え、すべてを開示する必要はない。 災害時に日中地域にいる中学生に、お年寄りに力を貸すようなボランティア活動ができないだろうか。 学校評価などのアンケート結果で学校側の基本方針がぶれないようにしてほしい。 中学生に今、地域での居場所が少ないのではないか。 少数の意見ばかりを気にせず、わがままは許さない姿勢で頑張ってもらいたい。</p>